

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	建設部 土木港湾課	関連部課名	企画部 企画政策課
基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】			
施策名	港湾・海岸			
産業の発展と国際競争力の強化を目指して、港湾施設整備、鉄道や道路との連携などによる物流拠点機能の強化を図るとともに、港に人々の交流や賑わいを創出するために、竹島地区などにおける施設の整備・充実、良好な海岸景観の形成などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●港湾施設の整備と機能の充実を図り、国際競争力の高い港湾として活用されています。 ●みなとが人々の交流の場として賑わっています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 港湾物流機能の強化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
ポートセールス・要望活動	国・県へ要望	国・県へ要望	国・県へ要望
倉舞港長寿命化計画策定	※H24年度 倉舞港長寿命化計画策定(委託料 4,694千円)	-	-

2 賑わいのある“みなと”づくりの推進

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
イベントの開催	5件	5件	7件

3 海洋性レクリエーション機能の充実

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
パラリンピックの練習	15	15	15
ヨット大会等の開催	4	5	5

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
蒲郡地区 外国貿易数量(t)	目標値		750,000		1,000,000
	実績値	720,391	929,662		平成32年度
みなとでのイベント参加者数	目標値		80,000		100,000
	実績値	19,100	19,000		平成32年度
「パリアフリー・ボンツーン」マンボウ 利用人数	目標値		500		500
	実績値	623	544		平成32年度
倉舞港長寿命化計画策定率	目標値			65%	100%
	実績値	65%	65%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
蒲郡地区 外国貿易数量(t)	蒲郡地区で取り扱った輸出入の貨物量の増減で物流機能の状況を判断する
みなとでのイベント参加者数	みなとに於いてイベントを開催することにより賑わいの状況を判断する
「パリアフリー・ボンツーン」マンボウ 利用人数	マンボウを活用した海洋レクリエーション活動の状況を判断する
倉舞港長寿命化計画策定率	(計画策定施設数／市管理施設数) × 100 (%)

◆指標の分析

<p>外国貿易数量は欧米への完成自動車輸出が好調であり、今後も増加傾向が想定されるが、原木、製材関係の取扱数量の減少が見込まれることから、平成27年度の取扱量は微増という想定である。</p> <p>既存貨物の利用促進や新規事業者開拓の為、原木、製材、完成自動車・中古自動車の輸出入を対象に助成制度を活用することにより、貨物量の若干の増加が期待できる。</p> <p>みなとでのイベントは、うどんサミット、くらふとフェア等の開催により平成27年度の利用者において大きく増加することが見込まれる。</p> <p>マンボウの使用回数は、パラリンピック強化練習の実施により若干の増加が見込める。</p>

◆今後の方針

<p>施策の課題</p>	<p>・港湾物流機能の強化については、関係諸団体への要望活動は引き続き行い、新規利用者開拓を行なっていかなければならない。</p> <p>・賑わいのある“みなと”づくりの推進については、ビックイベントの開催により増加が期待できるが、開催期間が限定的であるため、年間を通じて賑わいを創出することが必要である。</p> <p>・海洋性レクリエーション機能の充実については、周辺エリアの将来計画の見直しが必要である。</p>
--------------	---

<p>今後の施策展開</p>	<p>・港湾物流機能の強化については、関係諸団体への要望活動は引き続き行い、新規利用者開拓を行なっていかなければならない。</p> <p>・賑わいのある“みなと”づくりの推進については、ビックイベントの開催により増加が期待できるが、開催期間が限定的であるため、年間を通じて賑わいを創出することが必要である。</p> <p>・海洋性レクリエーション機能の充実については、周辺エリアの将来計画の見直し、海岸環境を保存しつつ、市内の温泉地区との連携を図ることで滞在型観光拠点としての利用など、観光と景観形成・保全を併せた総合的な取り組みが重要となる。</p>
----------------	--

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	平成26年度末には11号岸壁の一部が供用開始されているが、連続3バース建設には利用拡大が条件となってくる。そのためには、新規利用者開拓、助成制度を活用したポートセールスを重点的に取り組む必要がある。 また、賑わい創出の為、単発イベントに頼らず、年間を通じて利用される環境づくりや将来計画を見直す必要がある。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	11号岸壁の一部供用以降、完成自動車の海外輸出は着実に伸びていますが、原木・製材関係の取扱は激減しているため、それに代わるべく新規利用者開拓が必要です。常に時代の流れを読み、チャンスをつかむ様に心がけたい。 平成28年10月に待望のクルーズ客船が寄港することになり、国の重要施策として、クルーズ振興を打ち出している現在、この機に乗じて、物流港に加え、観光交流の港としての機能も兼ね備えた港として、さらなる発展を目指す。 また、港の利活用を向上させることにより、11号岸壁の連続3バースの整備要望、既存の野積場や倉庫補修等の港湾施設整備の要望を愛知県に対して強く行い、そしてこの施設改善により、ますますの港の発展を目指す。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長 マニフェスト	実施 計画
3-6	企画政策課	29	ラグーナ蒲郡運営事業支援交付金	269,500	1,935	0.25	A	オ	1-3	○
3-6	企画政策課	30	ラグーナ蒲郡地区環境整備事業費	661,348	11,620	1.45	B	エ	1-3	○
3-6	土木港湾課	35	海のまちづくり推進事業	4,680	8,193	1.00	A	カ	1-3	×
3-6	土木港湾課	36	三河港各種団体育成推進事業	7,298	3,654	0.43	B	オ	1-3	○
3-6	土木港湾課	327	東港整備事業	3,690	2,525	0.45	A	エ	—	×
3-6	土木港湾課	330	港湾整備事業	17,231	2,326	0.32	A	ウ	—	○
3-6	土木港湾課	331	海岸環境整備事業	3,929	2,525	0.45	A	ウ	—	×